自己肯定感の醸成を図る（自他の命を尊重し 活躍の場がある学校）

【学校教育目標との関連】

「しっかり学ぶ子」
すすんで考え 自ら学ぼうとする子供・教職員

「心やさしい子」
互いを認め合い 思いやりのある子供・教職員

「たくましい子」
心身ともに健康で 粘り強く行動する子供・教職員

かんがえる

●「わかった・できた・役に立った」を実感できるよう、UD化を意識した授業改善を目指します。

●「他者と協働して学びを深める児童の育成」を研究テーマとした校内研究を継続し、子供が自ら「問い」をもつ個別最適な学び、互いの思いや考えを「共有」できる協働的な学びを目指します。

●すべての授業において、ねらいを明確にした授業、児童自らによる振り返りを意識した授業を徹底します。

●総合的な学習の時間を軸とした探究的な学びを重視します。またその際に地域人材、地域教材を積極的に取り入れ、体験的な学びを充実させます。

●読書活動の推進と共に学習者用端末と並行した調べ活動の拠点として学校図書館を活用します。

●毎週水曜朝にモジュール学習を実施し、国語化における基礎・基本を定着させます。

つよい

●基本的な生活習慣や正しい規範意識を身に付けるために、「五小のきまり」「当たり前のこと10か条」を共通の指導の拠り所とします。特に「あいさつ」「廊下歩行」を、年間通じたテーマとします。

●「当たり前のこと10か条」の項目を、高学年児童を中心に自ら振り返りをする等、よりよい学校生活に対する当事者意識を育てます。

●運動や健康についての課題に気付けるよう、日常の体育授業やマラソン・なわとびタイム等の行事を通して、心身ともにたくましい児童を育みます。

●長期休暇後に「げんきアップカード」を活用し、自らの生活リズムを振り返ることができるようにします。

●安全への関心を高め、危険を予知し回避する力を身に付けるため、避難訓練や安全指導等を「いのちの安全教育」として位置付け、主体的に判断できる児童を育てます。

やさしい

●多様性を認め、自他の命を大切にできるよう、考え議論する道徳の授業を軸として、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育みます。

●なかよし学級（たてわり）や、異学年の交流学習等を通して、相手に対する思いやりや社会性を育みます。

●日野市社会福祉協議会と連携したハートフルプロジェクトの取り組みを継続し、福祉への理解を深めます。

●毎週火曜日にロング中休みを位置付け、学級担任と児童とのふれあいの時間を大切にします。

●特別支援教室拠点校の利点を生かし、子供に寄り添い、声に耳を傾け、活躍・成長したことを肯定的にフィードバックします。

●各学年に特別支援教育コーディネーターを配置し、児童の良さを組織的に見取るとともに、校内支援委員会を通して児童理解や指導法の共通理解に努めます。

くじけない

●目標の実現に向けて挑戦しようとする態度を育むために、日常の授業や学校行事等、児童が活躍できる場面を設定して自己肯定感を醸成させます。

●特別活動を軸として、学級・学年・学校の課題を主体的に解決しようとする取り組みを推進します。特に話合い活動における合意形成や意思決定の機会を大切にしていきます。

●ふれあい月間等を活用し「いじめは絶対に許さない」という姿勢を全教職員で示し、未然防止、早期発見、早期対応に努めます。

●学年経営を主軸とし、複数の目で児童を育てるため、道徳の交換授業や一部教科担任制等を取り入れます。

●ミドルリーダー層を中心とした OJT 校内研修会に取り組み、教員個々のスキルアップを目指します。

●悩みを一人で抱え込まず、チーム五小という組織として課題と向き合います。

【日野市学校教育基本構想との関連】

「安心できる学校プロジェクト」
自分と他者の多様な個性を前提に、
子供たち全員の居場所と活躍の場を支える。

「学びの変革プロジェクト」
一人一人が多様な学び方を身に付け、
探究的に深く学べるようにする。

「子供たちがつくる学校プロジェクト」
子供たちが当事者として参画し、意見し、対話し、
学校における営みをつくる活動を支える。

【主な学校行事予定】

<1学期>
始業式・入学式　1年生を迎える会　家庭訪問　個人面談　道徳授業地区公開講座
セーフティ教室　引き渡し訓練　移動教室（5年：八ヶ岳　6年：日光）　着衣水泳　終業式

<2学期>
始業式　こどもまつり　全校ボランティア　運動会　マラソンタイム
マラソン記録会　連合音楽会（6年）　授業参観・保護者会　終業式

<3学期>
始業式　校内書初展　なわとびタイム　展覧会
6年生を送る会　授業参観・保護者会　卒業式　修了式